経営者から見るインターネット/ネットワークコミュニティ

土屋 師子生　(アリスタネットワークスジャパン合同会社)
佐々木 健　　(株式会社DMM.comラボ)

登壇者の紹介

- 亀山 敬司さん（株式会社DMM.com）
  - DMM.comグループ会長／創業者
- 田中 邦裕（さくらインターネット株式会社）
  - さくらインターネット代表取締役社長/最高経営責任者／創業者

なぜこのセッションをやりたかったか？

- JANOGは技術者のコミュニティである
- でも
  - もう20年（1997-)
  - 会員数　約7000名
  - ミーティング参加者　500名前後
  - 30社を超える協賛企業
- ミーティングの後はそれらの技術を如何に自社（ビジネスも含め）に役立てるかは重要

二人の経歴から

- 「何故そのビジネスにインターネットを選択したのか？」

- 「何故そのビジネスでインターネットを注力してるのか？」

などを改めて聞きたい

亀山さん

- 石川県加賀市出身
- 露天商
- 雀荘、バーなど経営
- 1980年代後半　レンタルビデオ店を開業
- 1990年北都開業
- 1998年ネット配信事業を開始
- 1999年11月株式会社デジタルメディアマートを設立（現：DMM.com）
- FX事業/オンラインゲーム事業/英会話事業/3Dプリント事業（現：DMM.make事業）/モバイル事業/ロボット事業など

参考：
https://ja.wikipedia.org/wiki/亀山敬司

田中さん

- 大阪府生まれ
- 1996年、国立舞鶴高等専門学校在学中にさくらインターネットを創業　レンタルサーバー事業を開始。
- 1998年、有限会社インフォレスト設立
- 1999年、さくらインターネット株式会社を設立、代表取締役社長に就任。
- 2005年に東証マザーズへ上場

こんな事聞いてみたい

- JANOGやインターネットコミュニティが経営者から見て必要か？何を得る事が出来れば有益か？
- 自社ユーザーコミュニティとJANOGの様なコミュニティの違い
- 企画を持ちかけられた時に、一番気になるポイント
- 若手(?)の社長/役員の就任について
- **会場からもどうぞ！**